

久慈市内及び釜石市内における 死亡野鳥に係る高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出について

【要旨】

令和7年3月18日に久慈市内で回収した死亡野鳥2羽、3月19日に釜石市内で回収した死亡野鳥1羽の計3羽について、国が遺伝子検査を実施したところ、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された旨連絡がありましたのでお知らせします。

なお、県内における野鳥の高病原性鳥インフルエンザ事例としては、今シーズン、6例目及び7例目となります。

1 主な経緯等

(1) 野鳥の回収地点

①久慈市小久慈町 ②釜石市大平町

(2) 経緯

- 令和7年3月18日に、県（県北広域振興局保健福祉環境部）が回収した死亡野鳥（ハシブトガラス）6羽のうち、2羽について簡易検査を実施したところ、1羽で陽性を確認
環境省は、同日付で回収地点の半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定、県は同日から巡回監視を実施
- 令和7年3月19日に、県（沿岸広域振興局保健福祉環境部）が回収した死亡野鳥（ハシブトガラス）2羽について簡易検査を実施したところ、1羽で陽性を確認
環境省は、同日付で回収地点の半径10km圏内を野鳥監視重点区域に指定、県は同日から巡回監視を実施

2 国からの検査結果

- 3月19日（水）に国立環境研究所において遺伝子検査を実施した結果、3月18日に簡易検査が陰性であった久慈市内回収の死亡野鳥1羽について、A型鳥インフルエンザウイルスを検出
- 令和7年3月25日、遺伝子検査の結果、3羽（①久慈市2羽、②釜石市1羽）から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出

3 対応

- 県（県北広域振興局保健福祉環境部及び沿岸広域振興局保健福祉環境部）では、引き続き、環境省のマニュアルに基づき、野鳥監視重点区域内の野鳥の主要飛来地を巡回し、死亡個体や衰弱個体の早期発見・回収に努める。
- 本日、「食の安全安心危機管理対応指針」に基づき「食の安全安心危機管理連絡会議」を開催（書面開催）し、庁内で情報共有を図る。
- 農林水産部畜産課において、家きん飼養者に対し、本事例の情報提供を行い、飼養衛生管理の徹底と異常時の早期通報について周知を行う。

4 その他

- 令和6（2024）年シーズンについては、野鳥における高病原性鳥インフルエンザが1道17県で139件発生（3/25時点）しています。